サーバーレスオンデマンドプリント
取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、サーバーレスオンデマンドプリントの設定方法や機能の操作方法、使用上の注意を記載しています。本機能のご使用にあたっては、必ず本書をお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターや、機械の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。

お使いのパーソナルコンピューターの基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューターに付属の説明書をお読みください。お使いの機械の操作方法については、機械に同梱されている『管理者ガイド』や『ユーザーズガイド』などのマニュアルをご覧ください。

<u>バージョンアップされたかたへ</u>

Ver.X.X Ver.2.0 よりあとのバージョンで追加、変更された機能には、このマークがついています。
お使いのコンテンツのバージョンを確認する場合は、「コンテンツ情報の確認」(P.32) を参照してください。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。
万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

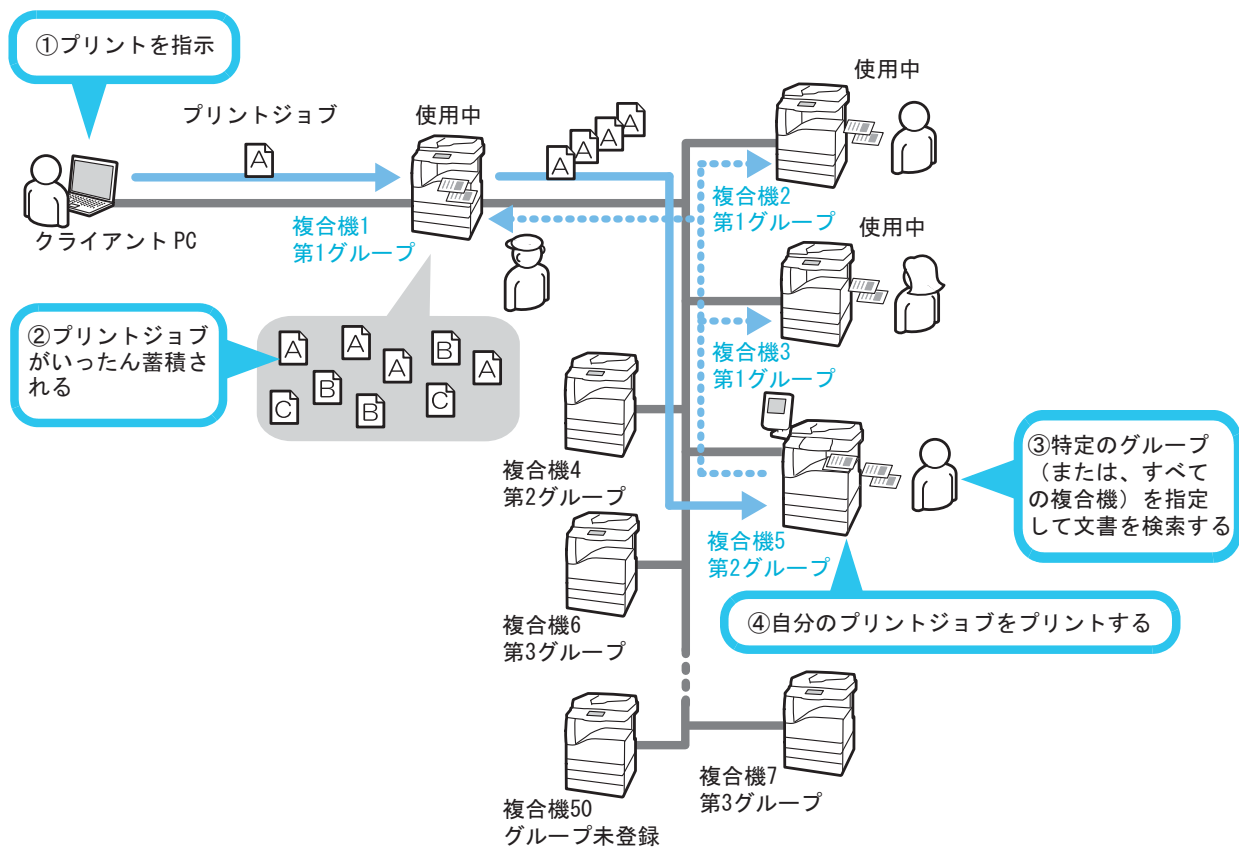
目次

サーバーレスオンデマンドプリントとは

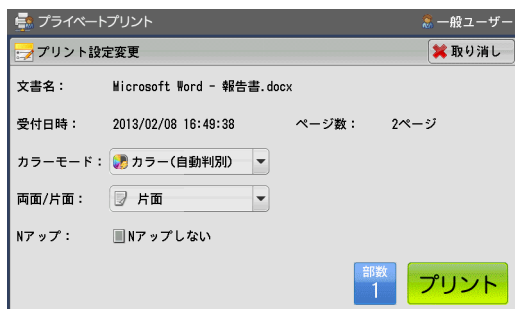
サーバーレスオンデマンドプリントでは、コンピューターから指示したプリントジョブをいったん機械に蓄積します。ユーザーは、機械からジョブを呼び出してプリントします。ジョブを蓄積するためのサーバーは必要ありません。
ジョブを蓄積している機械が使用中でも、空いている機械からプリントできます。また、プリントする前にジョブを確認できるので、無駄なプリントを削減できます。

サーバーレスオンデマンドプリントの特長

■ プリントジョブの共有

- ジョブを受信した機械が使用中でも、空いている機械からプリントできます。
- ジョブを共有できる機械は、ジョブを受信した機械とあわせて50台まで設定できます。また、事前にグループを設定しておくと、特定のグループに所属する機械だけを検索し、蓄積されている自分のプリントジョブをプリントできます。Ver.4.x

■ プリント設定の変更

コンピューターで行ったプリント設定を、プリント時に変更できます。
両面で出力したい文書を片面でプリントするように指示してしまった場合でも、プリント時に機械で設定を両面プリントに変更できます。ユーザーはコンピューターから再度プリント指示する操作を省くことができます。

参照

- 詳しくは、「プリント設定の変更」(P.22) を参照してください。

■ プリント済み文書の確認 Ver.3.x

プリント済みの文書や転送中 / 転送済みの文書は、［プリント済み文書］画面に表示され、再度プリントできます。
ジョブが完了した文書を再度プリントしたい場合、ユーザーはコンピューターからプリント指示する操作を省くことができます。

参照

- 詳しくは、「プリント済み文書の再利用」(P.23) を参照してください。

対象機種

本機能を利用できる機種は、次のとおりです。

- ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275
- DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275
- DocuCentre-IV C2263
- ApeosPort-IV 7080/6080/5080
- DocuCentre-IV 7080/6080/5080
- ApeosPort-IV 4070/3070
- DocuCentre-IV 4070/3070

補足

- 2013 年 4 月現在の情報です。対象機種は予告なく変更される場合があります。

使用環境の設定

本機能を使用するために必要な設定項目を説明します。本機能を使用する前に、以下の項目が正しく設定されているか確認してください。

本体側の設定

あらかじめお使いの機械で次の設定をしておく必要があります。

項目	設定内容	参照
SOAP ポート	• SOAP ポート：起動 • ポート番号：80	「SOAP ポート」(P.6)
IPP ポート	• IPP - ポート：起動	「IPP ポート」(P.6)
メモリー設定	• 受信バッファ - IPP：ハードディスクスプール	「メモリー設定」(P.7)
Webブラウザー設定	• 外部アクセスバージョンの選択：V4（新バージョン） • 終了時のキャッシュ削除：する	「Web ブラウザー設定」(P.7)
プロトコル設定	• IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、お使いの機械を TCP/IP 環境で使用するための設定	「プロトコル設定」(P.7)
認証方式の設定 *1	• 認証方式の設定：本体認証または外部認証 *3 • ユーザーの登録	「認証方式の設定」(P.8)
認証情報の設定 *2	• IC カード連携モード：パスワード入力不要	「認証情報の設定」(P.8)
プライベートプリントの設定	• 受信制御：プライベートプリントに保存	「プライベートプリントの設定」(P.8)

*1: お使いの機械とプリントジョブを共有する機械の設定が同じになるように設定してください。
*2: 外部認証を使用する場合は、この設定が必要です。
*3: ［認証方式の設定］を［認証しない］に設定していても、本機能を使用することができます。 Ver.3.x
ただし、IC Card Gate 2/3 または内蔵型 IC カードリーダーがお使いの機械に装着されている必要があります。その場合、IC Card Gate 2/3 または内蔵型 IC カードリーダーが読み取ったカード番号と同一の User ID のジョブだけがプリント対象となります。お使いの機械でのユーザーの登録は不要です。

参照

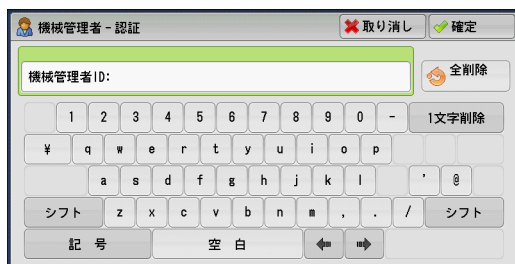
• 各設定項目の詳細については、『管理者ガイド』を参照してください。

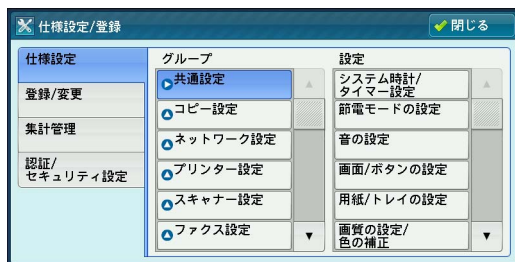
各項目の設定は、［仕様設定 / 登録］画面で行います。
［仕様設定 / 登録］画面を表示させる手順は次のとおりです。

補足

• 本書に記載している画面は、使用している機械の構成によっては、表示されない項目や使用できない機能があります。

1 機械の操作パネルで〈認証〉ボタンを押します。

2 〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。

3 メニュー画面で、[仕様設定 / 登録] を押します。

4 任意の項目を設定します。

補足

- 設定値を反映するために再起動が必要な場合があります。画面が表示されたら再起動してください。

SOAP ポート

1 [仕様設定] ＞ [ネットワーク設定] ＞ [ポート設定] で [SOAP] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

2 次の項目を設定します。

- [SOAP - ポート]：[起動]
- [SOAP - ポート番号]：[80]

3 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

4 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

IPP ポート

1 [仕様設定] ＞ [ネットワーク設定] ＞ [ポート設定] で [IPP] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

2 ［IPP - ポート］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

3 ［起動］を選択し、［決定］を押します。

4 ［仕様設定 / 登録］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

5 他の項目を設定しない場合は、［閉じる］を押します。

メモリー設定

1 ［仕様設定］＞［プリンター設定］＞［メモリー設定］で［受信バッファ - IPP］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

2 ［ハードディスクスプール］を選択し、［決定］を押します。

3 ［閉じる］を押します。

4 他の項目を設定しない場合は、［閉じる］を押します。

Web ブラウザー設定

1 ［仕様設定］＞［Web ブラウザー設定］で［外部アクセスバージョンの選択］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

2 ［V4（新バージョン）］を選択し、［決定］を押します。

3 ［終了時のキャッシュ削除］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

4 ［する］を選択し、［決定］を押します。

5 ［閉じる］を押します。

6 他の項目を設定しない場合は、［閉じる］を押します。

プロトコル設定

1 ［仕様設定］＞［ネットワーク設定］＞［プロトコル設定］で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、お使いの機械を TCP/IP 環境で使用するための項目を設定します。

2 ［仕様設定］＞［ネットワーク設定］＞［プロキシサーバー設定］で［プロキシを使用しないアドレス］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

3 「localhost」と入力し、［決定］を押します。

補足

- 本機能を使用する場合、「localhost」を削除しないでください。

4 ［閉じる］を押します。

5 他の項目を設定しない場合は、［閉じる］を押します。

認証方式の設定

補足
- 本体認証、または外部認証を使用する場合は、この設定が必要です。お使いの機械とプリントジョブを共有する機械の設定が同じになるように設定してください。
- ［認証方式の設定］を［認証しない］に設定していても、本機能を使用することができます。Ver.3.x
  ただし、IC Card Gate 2/3、または、内蔵型 IC カードリーダーがお使いの機械に装着されている必要があります。
  その場合、IC Card Gate 2/3、または、内蔵型 IC カードリーダーが読み取ったカード番号と同一の User ID のジョブだけがプリント対象となります。お使いの機械でのユーザーの登録は不要です。

1. ［認証 / セキュリティ設定］＞［認証の設定］で、［認証方式の設定］を押します。
2. ［本体認証］または［外部認証］を選択し、［決定］を押します。
3. 本体認証の場合は、本機能を使用するユーザーを登録します。
   ［認証 / セキュリティ設定］＞［認証の設定］＞［ユーザー登録 / 集計確認］を押します。
   外部認証の場合は、手順 9 に進みます。
4. 登録する番号を選択し、［登録 / 確認］を押します。
5. 登録する User ID を入力し、［決定］を押します。
6. ［ユーザー名］を選択して、登録するユーザー名を入力し、［決定］を押します。
7. 必要に応じて、その他の項目を設定し、［閉じる］を押します。
8. 手順 4 ～ 7 を繰り返し、ユーザーを登録します。
9. ［閉じる］を押します。
10. 他の項目を設定しない場合は、［閉じる］を押します。

認証情報の設定

補足
- IC カードを利用した外部認証を使用する場合は、この設定が必要です。

1. ［認証 / セキュリティ設定］＞［認証の設定］＞［認証情報の設定］で［IC カード連携モード］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2. ［パスワード入力不要］を選択し、［決定］を押します。
3. ［閉じる］を押します。
4. 他の項目を設定しない場合は、［閉じる］を押します。

プライベートプリントの設定

1. ［認証 / セキュリティ設定］＞［認証の設定］で、［認証 / プライベートプリントの設定］を押します。
2. ［受信制御］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

3 ［プライベートプリントに保存］を選択し、［決定］を押します。

補足

- 本体認証の場合は、受信制御で［プリントの認証に従う］を選択し、［認証成功のジョブ］で［プライベートプリントに保存］を選択して設定することもできます。

4 ［閉じる］を押します。

5 他の項目を設定しない場合は、［閉じる］を押します。

サーバーレスオンデマンドプリントの環境設定

機械管理者でログインし、サーバーレスオンデマンドプリントを利用するための設定をします。

設定は、本機能の管理者メニューから行います。

1 機械管理者として、お使いの機械で認証モードに入ります。

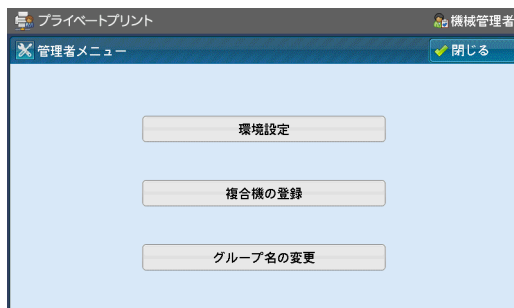
2 メニュー画面の［プライベートプリント］を押します。

注記

- ［プライベートプリント］のアイコンと本機能の［プライベートプリント］アイコンとではデザインが異なります。

補足

- ［プライベートプリント］ボタンが表示されない場合は、必要な環境設定が機械に正しく設定されているか確認してください。環境設定については、「使用環境の設定」(P.5) を参照してください。
- 他のカスタムサービスを利用している場合やメニュー画面に表示する機能ボタンの設定を変更している場合、［プライベートプリント］ボタンが表示されないことがあります。その場合は、［仕様設定］＞［共通設定］＞［画面 / ボタンの設定］で、［メニュー画面の機能配列］の設定を変更してください。詳しくは、『管理者ガイド』を参照してください。

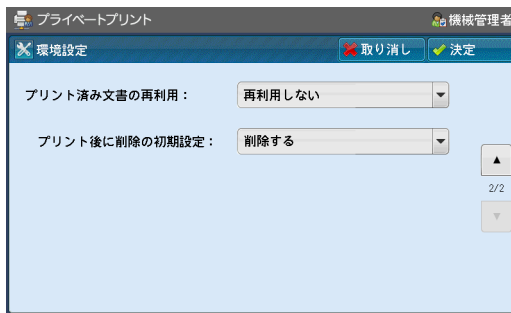
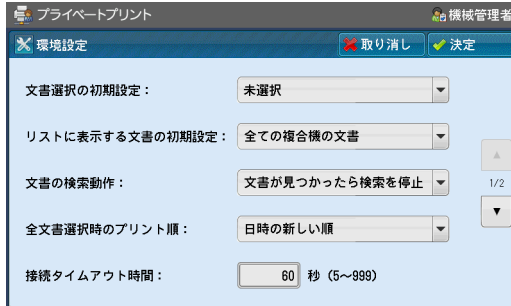
3 管理者メニューで、［環境設定］、［複合機の登録］または［グループ名の変更］のいずれかを選択します。

参照

- 詳しくは、「［環境設定］画面」(P.10)「［複合機の登録］画面」(P.12)、「［グループ名の変更］画面」(P.13) を参照してください。

4 任意の項目を設定し、［決定］を押します。

5 ［閉じる］を押します。

［環境設定］画面 Ver.3.x Ver.4.x

［環境設定］画面では、本機能の使用環境を設定します。

■ 文書選択の初期設定

［プライベートプリント］画面を表示するときに、文書が選択された状態にするかどうかを設定します。［未選択］、［全て選択］から選択します。

■ リストに表示する文書の初期設定

［プライベートプリント］画面の文書一覧の初期表示を設定します。
［この複合機の文書］を選択すると、お使いの機械に蓄積されている文書の一覧が初期表示されます。［全ての複合機の文書］を選択すると、お使いの機械とリモート機に蓄積されているすべての文書の一覧が初期表示されます。［第 1 グループ］～［第 10 グループ］のいずれかを選択すると、該当グループの機械に蓄積されている文書の一覧が初期表示されます。

■ 文書の検索動作

文書を検索するときの動作を指定します。文書の検索は、リモート機に対して 5 台単位で実施されます。［文書が見つかったら検索を停止］を選択した場合は、検索中の 5 台の中で文書が見つかると、次の検索動作を停止します。［全ての複合機を検索］を選択した場合は、すべての機械が終わるまで検索を行います。

補足

- ［全ての複合機を検索］を選択した場合は、機械の登録台数と接続タイムアウト時間によっては、文書の検索に時間がかかることがあります。

■ 全文書選択時のプリント順

すべてのジョブを選択したときのプリント順を設定します。［日時の新しい順］、［日時の古い順］から選択します。

注記

- 異なる機械に蓄積されている文書を一度にプリント指示した場合、タッチパネルディスプレイに表示された順序とは異なる順序でプリントされることがあります。

■ 接続タイムアウト時間

お使いの機械からリモート機に文書のプリントやジョブの削除を指示したり、リモート機から文書の一覧を受信したりするときの、接続の有効時間を設定します。ここで設定した時間以内に接続しないと、指示が無効になります。
5 ～ 999 秒の範囲で設定します。

補足

- 一度に大量の文書をプリント指示した場合や、処理に時間がかかる複雑な文書が含まれる場合、最後のページを受け付ける前にタイムアウトすることがあります。タイムアウトすると、受信したプリントジョブはキャンセルされるので、使用状況を考慮して時間を設定してください。
- 機械の登録台数と接続タイムアウト時間によっては、文書の受信に時間がかかることがあります。使用状況を考慮して時間を設定してください。

■ プリント済み文書の再利用

プリント済みの文書や転送中 / 転送済みの文書を再利用するかどうかを設定します。［再利用する］を選択すると、プリントや転送が完了した文書は削除されず、［プリント済み文書］画面から再度プリントできます。［再利用しない］を選択すると、［プリント後に削除の初期設定］が表示されます。

参照

- ［プリント済み文書］画面については、「プリント済み文書の再利用」(P.23) を参照してください。

■ プリント後に削除の初期設定

蓄積しているジョブのプリントを実行したときに、そのジョブを削除するかどうかを設定します。

注記

- リモート機からプリントする機械にジョブが送信された時点でプリントを実行したと判断します。この項目で［削除する］を選択すると、プリントする機械のエラーによってプリントが中止された場合でも、蓄積されているジョブが削除されます。そのため、この項目は［削除しない］に設定しておくことをお勧めします。

［複合機の登録］画面

［複合機の登録］画面では、お使いの機械、およびプリントジョブを共有する機械（以降、リモート機と呼びます）を設定します。

補足

- リモート機は、49 台まで設定できます。
- ［プライベートプリント］画面で、すべての機械、または特定のグループに蓄積された文書の一覧を表示する場合は、ここで登録された機械（グループの場合は、同グループに設定された機械）を上から順に 5 台単位で接続し、リモート機に蓄積されている文書の一覧を検索します。よって、よく利用するリモート機から登録することをお勧めします。

■ IP アドレス / ホスト名

IP アドレスまたはホスト名を入力します。

補足

- お使いの機械のIPアドレス/ホスト名は表示されません。お使いの機械のIPアドレス/ホスト名の確認方法については、『管理者ガイド』を参照してください。

■ SSL

機械で設定した SSL の設定を選択します。［有効］に設定した場合は、お使いの機械でリモート機から文書一覧を取得するときに SSL を使用します。
設定を変更する場合は、この設定だけでなく、機械側の設定も変更してください。

注記

- リモート機からの文書一覧取得等には SSL 通信が利用できますが、プリントデータ転送には SSL を利用することができません。

■ ポート

ポート番号に初期値以外の値を設定しているとき、使用するポート番号を入力します。ポート番号は、SSL の設定により、以下の値を入力します。

- SSL 無効時：SOAP のポート番号
- SSL 有効時：SSL のポート番号

補足

- SOAP と SSL のポート番号はすべての機械で一致している必要があります。ポート番号に初期値（SOAP：80、SSL：443）以外の値を設定した場合は、すべての機械に変更したポート番号を設定してください。

■ グループ Ver.4.x

所属するグループを選択します。機械は、[01: 第 1 グループ] ～ [10: 第 10 グループ] のグループに分けることができます。[プライベートプリント] 画面でグループを指定すると、同グループ内のリモート機に蓄積されている文書の一覧を取得できます。

[-（指定しない)] を設定したリモート機は、グループ未登録機として扱われます。

補足

- グループ未登録機に蓄積されている文書の一覧を取得するには、[プライベートプリント] 画面で [全ての複合機の文書] を選択する必要があります。そのため、機械の登録台数によっては、文書の一覧が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- グループ名は変更できます。「[グループ名の変更] 画面」(P.13) を参照してください。

■ 接続テスト

[接続テスト] を押すと、接続テストが開始され、IP アドレス / ホスト名を入力したすべての機械の接続状況を確認します。接続テスト中は、[接続テスト中] 画面が表示されます。接続テストが完了すると、[接続テスト完了] 画面が表示されます。

接続テストに失敗した機械があった場合は、接続に失敗した機械の番号と台数が表示されます。接続テストを中止するには、[中止] を押します。

注記

- [認証方式の設定] を [認証しない] に設定した状態で接続テストを行った場合、接続テストに成功しても文書の一覧を取得できないことがあります。

補足

- 接続テストは、登録したすべての機械に 5 台単位で実施されます。
- 機械の登録台数と [環境設定] 画面の接続タイムアウト時間によっては、接続テストの完了までに時間がかかる場合があります。
- 接続テスト中の機械がある場合、[中止] を押しても、すぐにテストは中止されません。この場合、接続テストが完了するまで、[中止しています] と表示されます。

[グループ名の変更] 画面 Ver.4.x

[グループ名の変更] 画面では、グループの名称を設定できます。グループ名は全角と半角ともに 20 文字以内で設定できます。

この画面で設定したグループ名が [複合機の登録] 画面のグループ名に表示されます。

補足

- 画面上に表示できる文字は全角で 10 文字までです。

プリントする

コンピューターからプリントを指示し、機械から本機能を使用してプリントする手順を説明します。

プリンタードライバーの設定

プリントを指示するコンピューターのプリンタードライバーに、機械で認証するための User ID を設定します。

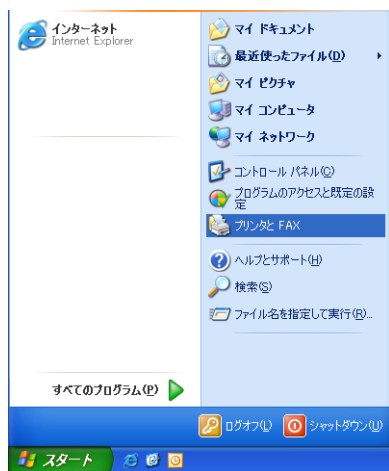
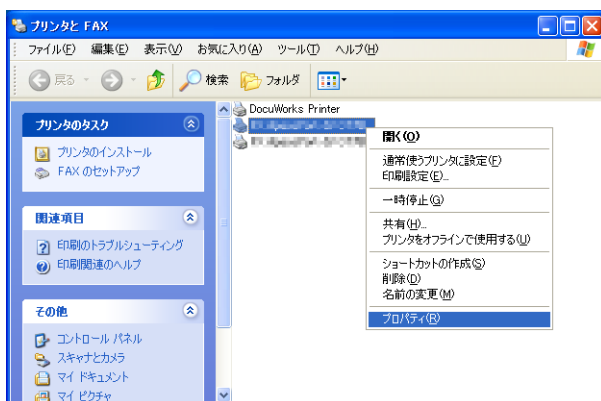
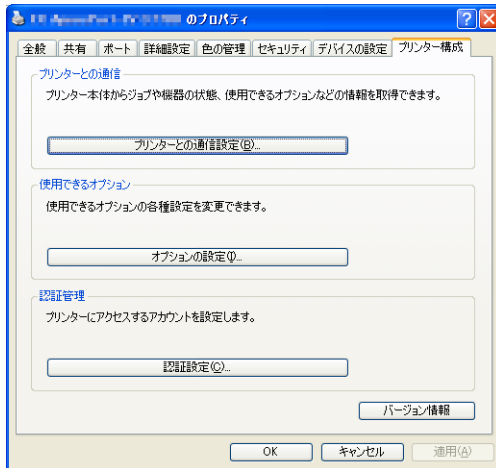
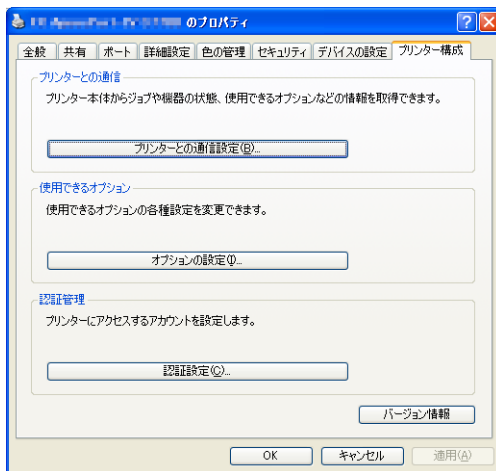
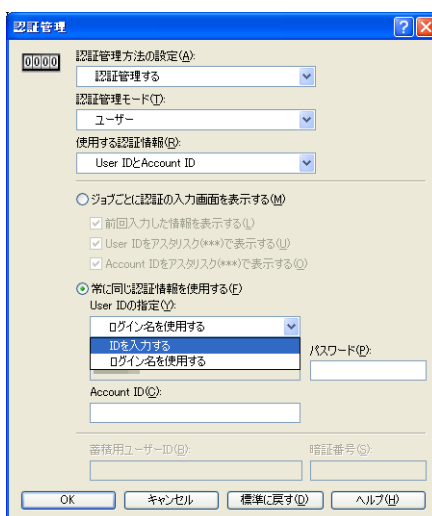
■ 対象ドライバー

- 機種固有ドライバー（ART EX/PostScript®）
- Multi-model Print Driver 2

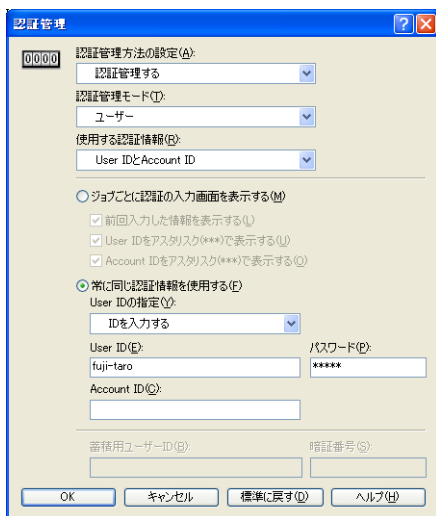
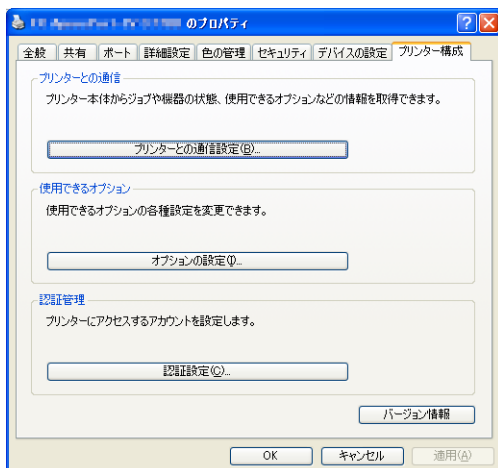
ここでは、Windows® XP 用 ART EX ドライバーを使用した例で、手順を説明します。

補足

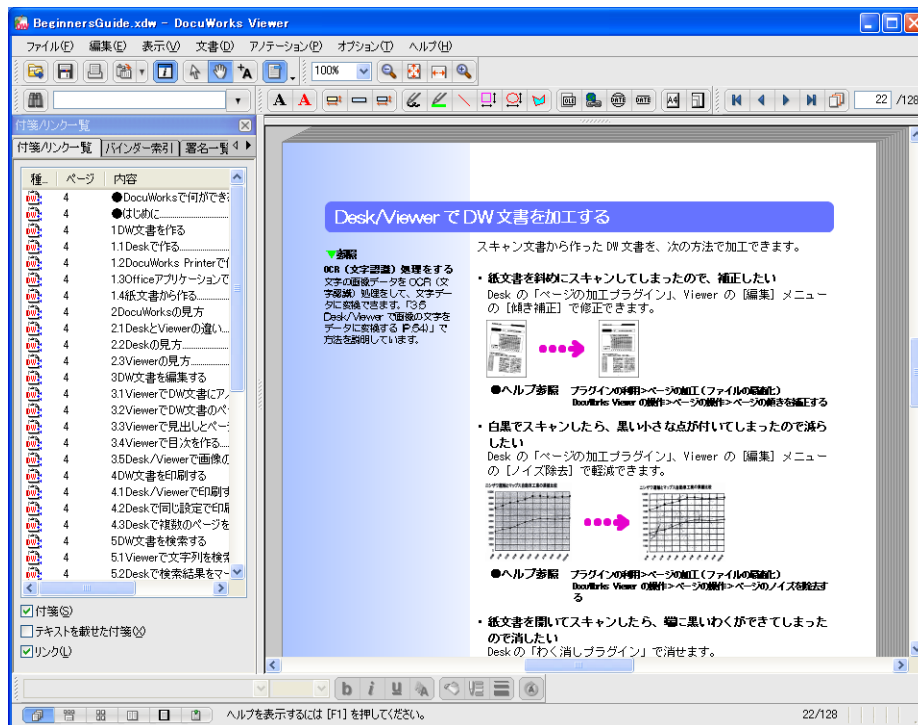
- 各種ドライバーのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。
- お使いの機械とリモート機の機種が異なるときは、カラー文書のプリント結果が期待どおりにならないことがあります。Multi-model Print Driver 2 を使用してください。

1 ［スタート］＞［プリンタと FAX］を選択します。

2 お使いの機械のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから［プロパティ］を選択します。

3 ［プリンター構成］タブをクリックします。

4 ［認証設定］をクリックします。

5 ［常に同じ認証情報を使用する］がチェックされていることを確認し、［User ID の指定］から［ID を入力する］を選択します。

6 認証するための User ID を入力し、［OK］ をクリックします。

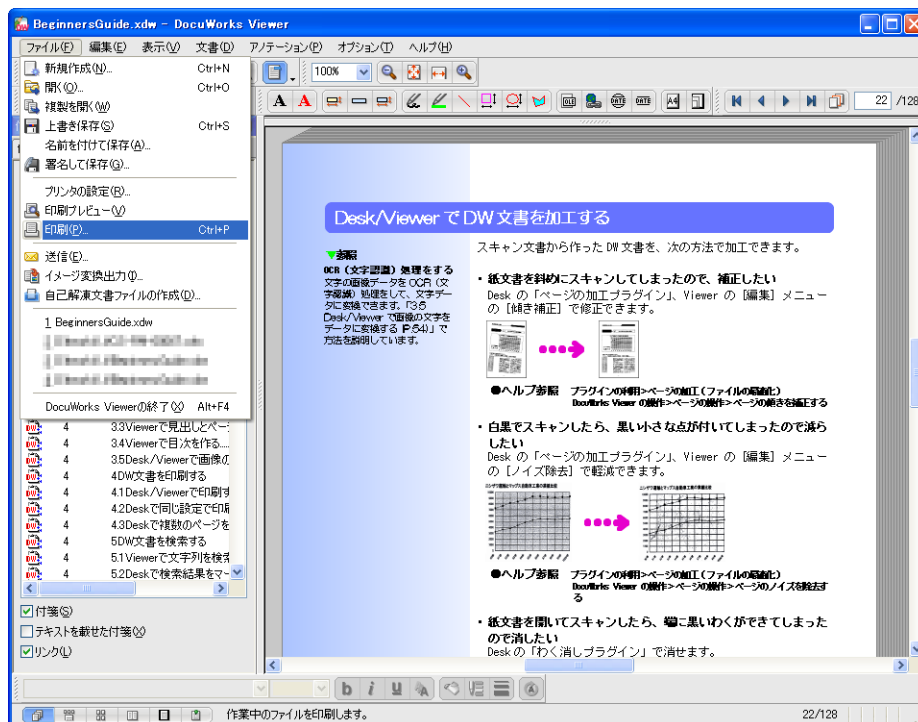
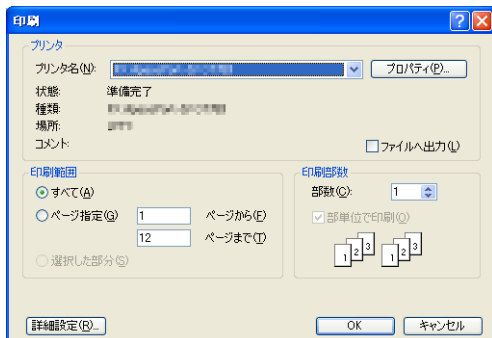
補足

- 認証するためのパスワードを設定している場合は、パスワードも入力します。
- ［認証方式の設定］ で ［認証しない］ を選択している場合、IC Card Gate 2/3、または、内蔵型 IC カードリーダーで読み取るカードの User ID と同一の User ID を入力してください。

7 ［OK］ をクリックします。

コンピューターからのプリント指示

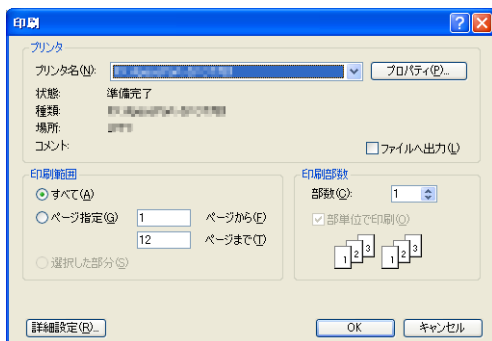
コンピューターからプリント指示をする手順について説明します。

1 プリントしたい文書を表示します。

2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

補足

- アプリケーションソフトウエアによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。

3 ［プリンタ名］でお使いの機械を選択し、［プロパティ］をクリックします。

4 ［プリント種類］で［通常プリント］を選択し、［OK］をクリックします。

5 ［OK］をクリックします。

プリント指示した文書が、お使いの機械に蓄積されます。続いて、機械の前に移動して、蓄積された文書をプリントします。

複合機からのプリント

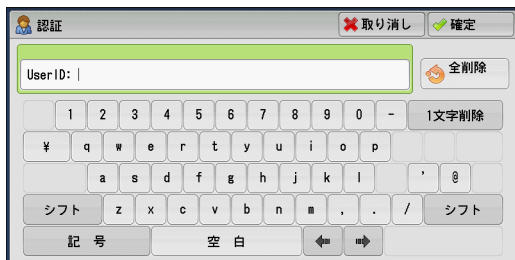
複合機から文書を選択し、プリントする手順について説明します。

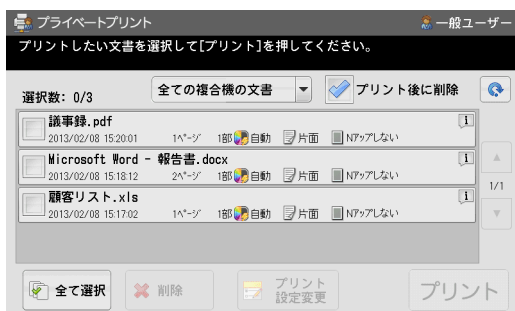
1 〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、［確定］を押して、認証モードに入ります。

補足

- IC カードを使用している場合は、IC カードを IC カードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

2 メニュー画面の［プライベートプリント］を押します。

注記

- ［プライベートプリント］のアイコンと本機能の［プライベートプリント］アイコンとではデザインが異なります。

3 ［プライベートプリント］画面からプリントする文書を選択します。

補足

- 一度に複数の文書を選択できます。
- 選択を解除する場合は、解除したい文書をもう一度選択します。

参照

- ［プライベートプリント］画面が表示されたときに、文書を選択した状態にするかどうかを設定できます。詳しくは、「文書選択の初期設定」(P.10) を参照してください。

■ 文書一覧

文書名、日時、ページ数、部数、カラーモード、片面 / 両面、N アップ、ホチキス / パンチなどが表示されます。

補足

- ［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。
- 文書のプリント設定によっては、右端に次のアイコンが表示される場合があります。
  - アイコン（制限付きでプリントできる文書）
    お使いの機械は、このアイコンが付いている文書のプリント設定に対応していません。
    ［プリント設定変更］画面で、対応していない設定の詳細情報が表示されます。
  - アイコン（プリントできない文書）
    お使いの機械は、このアイコンが付いている文書をプリントできません。
    ［プリント設定変更］画面に、詳細情報が表示されます。

参照

- ［プリント設定変更］画面について詳しくは、「プリント設定の変更」(P.22) を参照してください。

■ この複合機の文書 / 全ての複合機の文書 /［第 1 グループ］～［第 10 グループ］ Ver.4.x

［この複合機の文書］を選択すると、お使いの機械に蓄積されている文書が一覧で表示されます。［全ての複合機の文書］を選択すると、お使いの機械とリモート機に蓄積されているすべての文書が一覧で表示されます。［第 1 グループ］～［第 10 グループ］のいずれかを選択すると、該当グループの機械に蓄積されている文書が一覧で表示されます。

参照

- この項目の初期値を設定できます。詳しくは、「リストに表示する文書の初期設定」(P.10) を参照してください。

補足

- グループ未登録機に蓄積されている文書の一覧を取得するには、［全ての複合機の文書］を指定する必要があります。そのため、機械の登録台数によっては、文書の一覧が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

■ プリント後に削除

チェックを付けた場合、蓄積しているジョブはプリントを実行すると削除されます。

注記

- リモート機からプリントする機械にジョブが送信された時点でプリントを実行したと判断します。この項目にチェックを付けると、プリントする機械のエラーによってプリントが中止された場合でも、蓄積されているジョブが削除されます。そのため、この項目はチェックをはずしておくことをお勧めします。

補足

- この項目は、環境設定の［プリント済み文書の再利用］で［再利用しない］を選択しているときだけ表示されます。

■ プリント済み文書 Ver.3.x

［プリント済み文書］画面を表示します。

参照

- 詳しくは、「プリント済み文書の再利用」(P.23) を参照してください。

補足

- この項目は、環境設定の［プリント済み文書の再利用］で［再利用する］を選択しているときだけ表示されます。

■ （表示更新）

最新の文書が表示されます。

■ 全て選択

一覧にあるすべての文書を選択します。

■ 削除

選択中の文書を削除します。

■ 部数

部数を変更したい場合は、〈数字〉ボタンを使って部数を入力します。9999 部まで設定できます。

補足

- 複数の文書を選択しているときは、部数が表示されません。

■ プリント設定変更

選択中の文書のプリント設定（部数、カラーモード、両面 / 片面の設定）を変更します。

補足

- 複数の文書を選択しているときは、このボタンを選択できません。

参照

- 詳しくは、「プリント設定の変更」(P.22) を参照してください。

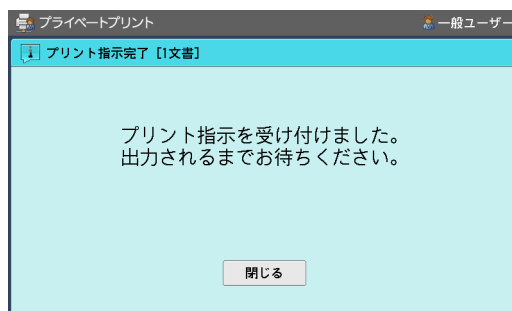
4 ［プリント］ を押します。

注記

- プリント指示の受け付けが完了するまでしばらくお待ちください。受け付けが完了する前にほかの操作を行うと、プリントできない場合があります。

補足

- すべてのジョブを選択したときのプリント順は、環境設定の「全文書選択時のプリント順」(P.11) に従います。

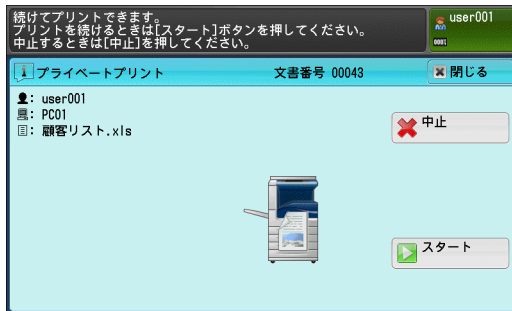
5 ［閉じる］ を押します。

6 〈認証〉 ボタンを押します。

認証が解除されて、〈認証〉 ボタンが消灯していることを確認します。

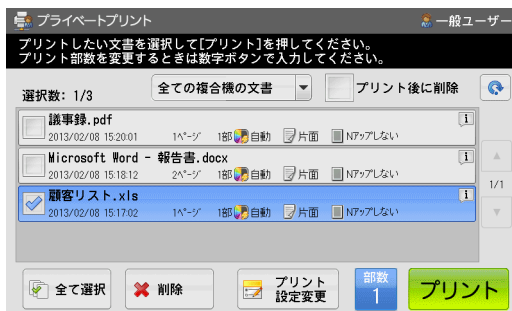
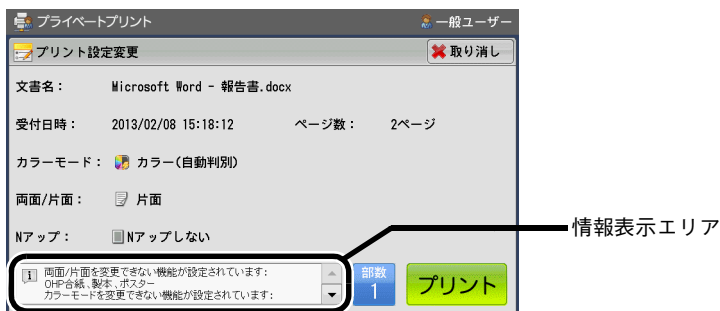
プリントの中止

プリントを中止する手順について説明します。

1 操作パネルの〈ストップ〉ボタンを押します。

2 ［中止］を押します。

プリント設定の変更

コンピューターで指示したプリントの設定内容を変更する手順について説明します。

1 ［プライベートプリント］画面でプリントする文書を選択し、［プリント設定変更］を押します。

2 任意の項目を設定します。

■ カラーモード

カラー文書を選択した場合、［カラー（自動判別)］、［白黒］から選択できます。

補足

- お使いの機械によっては、この設定を変更できない場合があります。

■ 両面 / 片面

［片面］、［両面（短辺とじ)］、［両面（長辺とじ)］から選択できます。

■ 情報表示エリア

- 制限付きでプリントできる文書

  お使いの機械が文書のプリント設定に対応していない場合は、情報表示エリアに［ i ］アイコンと、対応していない設定の詳細情報が表示されます。対応していない設定は解除されてプリントされます。

- プリントできない文書

  お使いの機械が文書をプリントできない場合は、情報表示エリアに［ ! ］アイコンと詳細情報が表示されます。

■ 部数

〈数字〉ボタンを使って部数を入力します。9999 部まで設定できます。

3 ［プリント］を押します。

注記

- プリント指示の受け付けが完了するまでしばらくお待ちください。受け付けが完了する前にほかの操作を行うと、プリントできない場合があります。

4 ［閉じる］を押します。

プリント済み文書の再利用 Ver.3.x

［プリント済み文書］画面から、プリント済みの文書や転送中 / 転送済みの文書を選択し、プリントする手順について説明します。

補足

- ［プリント済み文書］画面は、環境設定の［プリント済み文書の再利用］で［再利用する］を選択しているときだけ表示できます。

1 ［プライベートプリント］画面で、［プリント済み文書］を押します。

2 ［プリント済み文書］画面で、プリントする文書を選択します。

参照

- ［プリント済み文書］画面で表示される項目は、［プライベートプリント］画面と同じです。詳しくは、「複合機からのプリント」(P.19) を参照してください。

3 ［プリント］を押します。

注記

- プリント指示の受け付けが完了するまでしばらくお待ちください。受け付けが完了する前にほかの操作を行うと、プリントできない場合があります。

4 ［閉じる］を押します。

トラブル対処

お使いの機械に何らかのトラブルが発生した場合の処置について説明します。
トラブルが発生した場合は、以下の表で状態を確認してください。

本機能が起動しない

症状	原因 / 処置
［プライベートプリント］ボタンを押しても、［プライベートプリント］画面が表示されない。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

文書が表示されない

症状	原因 / 処置
ディスプレイに 「通信できない複合機があります。 プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。」 と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. リモート機との HTTP 通信時にエラーが発生しました。 2. 以下の設定がお使いの機械とリモート機とで一致していません。 ・時刻 ・機械管理者 ID ・機械管理者パスワード 3. 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 4. お使いの機械の本体側の設定と［複合機の登録］画面の［自機］の設定とで SSL 設定とポート設定が一致していません。 【処置】 1 については、お使いの機械とリモート機の SSL 設定とポート設定が一致していることを確認してください。 2 については、お使いの機械とリモート機とで上記の設定をすべて一致させてください。 3 については、接続タイムアウト時間を長くしてください。 4 については、お使いの機械の本体側の設定と［複合機の登録］画面の［自機］の設定とで SSL 設定とポート設定を一致させてください。
ディスプレイに 「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」 と表示されている。	【原因】 お使いの機械または検索したリモート機に蓄積されているジョブの数が 99 件を超えています。 【処置】 文書をプリントして、蓄積されている文書の数を減らしてください。プリント後に再度リストを表示すれば残りの文書が表示されます。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに 「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため495文書まで表示します。」 と表示されている。	**【原因】** お客様のジョブを検索した結果、取得したジョブの数が 495 件を超えました。 **【処置】** 文書をプリントして、蓄積されている文書の数を減らしてください。プリント後に再度リストを表示すれば残りの文書が表示されます。
ディスプレイに 「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。 文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」 と表示されている。	「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。」については、本表内の ---------------------------- ディスプレイに 「通信できない複合機があります。 プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。」 と表示されている。 ---------------------------- を参照してください。 「文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」については、本表内の ---------------------------- ディスプレイに 「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」 と表示されている。 ---------------------------- を参照してください。
ディスプレイに 「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。 文書が大量に存在するため495文書まで表示します。」 と表示されている。	「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。」については、本表内の ---------------------------- ディスプレイに 「通信できない複合機があります。 プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。」 と表示されている。 ---------------------------- を参照してください。 「文書が大量に存在するため 495 文書まで表示します。」については、本表内の ---------------------------- ディスプレイに 「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため 495 文書まで表示します。」 と表示されている。 ---------------------------- を参照してください。

症状	原因 / 処置
上記以外で、蓄積されている文書の一部が、文書一覧に表示されない。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. お使いの機械または検索したリモート機に蓄積されているジョブの数が99件を超えています。 2. お客様のジョブを検索した結果、取得したジョブの数が 495 件を超えました。 3. ［文書が見つかったら検索を停止］を指定して複数のジョブを検索したため、最初の文書を見つけたあと検索動作が停止しました。 【処置】 1 と 2 については、文書をプリントして、蓄積されている文書の数を減らしてください。プリント後に再度リストを表示すれば残りの文書が表示されます。 3 については、［環境設定］画面の［文書の検索動作］を［全ての複合機を検索］に設定してジョブを検索してください。ジョブの検索に時間がかかる場合は、よく利用するリモート機からグループを設定するなど、使用状況を考慮してグループを設定してください。
ディスプレイに 「機械内部でエラーが発生しました。 機械管理者に連絡してください。」 と表示されている。	【原因】 お使いの機械内部でエラーが発生しました。 【処置】 お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再度文書の削除指示をしても状態が改善されないときは、リモート機でエラーが発生している可能性があります。リモート機のエラーを解除してから、文書の削除指示をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

プリントできない

症状	原因 / 処置
プリントしたい文書に⚠アイコンが付いている。	【原因】 出力しようとした機械が、文書のプリント言語に対応していません。 【処置】 文書のプリント言語に対応している機械から、もう一度プリントを実行してください。
ディスプレイに 「プリント開始できません。 この文書は処理中です。 しばらく待ってから、もう一度操作してください。」 と表示されている。	【原因】 処理中の文書を指定したため、文書をプリントできませんでした。 【処置】 しばらく待ってから、もう一度操作してください。 それでも状態が改善されないときは、機械の設定が正しくない可能性があります。弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに 「指定した文書はありません。」 と表示されている。	【原因】 指定した文書は、すでにプリント実行されたか、削除されました。 【処置】 ［ジョブ確認］画面で、文書の状態を確認してください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに 「文書のプリントを中止しました。 同時に処理できるジョブ数を超えています。 実行中のジョブが終了するのを待って、もう一度操作してください。 このエラーが続けて表示される場合は、操作待ちや異常停止中のジョブがあるかどうかを［ジョブ確認］画面で確認してください。」 と表示されている。	**【原因】** お使いの機械が同時に処理できるジョブの数を超えました。 **【処置】** 実行中のジョブが終了してから、もう一度操作してください。それでも状態が改善されないときは、実行待ちや異常停止中のジョブがあるかどうかを［ジョブ確認］画面で確認してください。
お使いの機械からリモート機のジョブをプリント指示したが、しばらくしてもプリントが開始されない。	**【原因】** プリント指示したジョブを蓄積しているリモート機でエラーが発生しました。 **【処置】** リモート機のエラーを解除して、もう一度プリント指示を行ってください。
ディスプレイに 「機械内部に異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。」 と表示されている。	**【原因】** お使いの機械内部、またはプリント指示したジョブを蓄積しているリモート機でエラーが発生しました。 **【処置】** お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再度プリント指示をしても状態が改善されないときは、リモート機でエラーが発生している可能性があります。リモート機のエラーを解除してから、プリント指示をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに 「選択した文書が蓄積された複合機で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。 複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXXX」 と表示されている。 Ver.4.2	**【原因】** プリント指示したジョブを蓄積しているリモート機でエラーが発生しました。 **【処置】** リモート機のエラーを解除してから、プリント指示をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに 「機械内部に異常が発生しました。 テレフォンセンターに連絡してください。」 と表示されている。 Ver.4.2	**【原因】** お使いの機械内部でエラーが発生しました。 **【処置】** お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

思ったとおりのプリント結果にならない

症状	原因 / 処置
プリントしたい文書に アイコンが付いている。	【原因】 出力しようとした機械が、指定した文書のプリント設定に対応していません。 【処置】 指定した文書のプリント設定に対応している機械から、再度プリントを実行してください。 詳しくは、「文書一覧」(P.20) を参照してください。

文書が削除できない

症状	原因 / 処置
ディスプレイに 「文書削除エラー」 と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 処理中の文書を指定したため、文書を削除できませんでした。 2. 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 【処置】 1 については、しばらく待ってから、もう一度操作してください。 2 については、もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、接続タイムアウト時間を長くしてください。
ディスプレイに 「文書を削除できません。 この文書は処理中です。 しばらく待ってから、もう一度操作してください。」 と表示されている。	【原因】 処理中の文書を指定したため、文書を削除できませんでした。 【処置】 しばらく待ってから、もう一度操作してください。
ディスプレイに 「複合機と通信できなかったため、文書を削除できませんでした。」 と表示されている。	【原因】 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 【処置】 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、接続タイムアウト時間を長くしてください。
ディスプレイに 「機械内部でエラーが発生しました。 機械管理者に連絡してください。」 と表示されている。	【原因】 お使いの機械内部、または削除指示したジョブを蓄積しているリモート機でエラーが発生しました。 【処置】 お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再度文書の削除指示をしても状態が改善されないときは、リモート機でエラーが発生している可能性があります。リモート機のエラーを解除してから、文書の削除指示をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

環境設定が変更できない

症状	原因 / 処置
ディスプレイに 「設定を変更できませんでした。 もう一度［決定］を押してください。」 と表示されている。	**【原因】** 次の原因が考えられます。 1. 設定内容が正しくないため、変更できませんでした。 2. 機械内部でエラーが発生しました。 3. お使いの機械とリモート機とで SSL 設定とポート設定が一致していません。 4. お使いの機械の本体側の設定と［複合機の登録］画面の［自機］の設定とで SSL 設定とポート設定が一致していません。 **【処置】** 1 については、設定内容が正しいか確認してください。 2 については、しばらく待ってから、もう一度操作をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。 3 については、お使いの機械とリモート機とで SSL 設定とポート設定を一致させてください。 4 については、お使いの機械の本体側の設定と［複合機の登録］画面の［自機］の設定とで SSL 設定とポート設定を一致させてください。

接続テストに失敗する機械が存在する

症状	原因 / 処置
接続テストに失敗した。 接続テストに失敗した機械に⚠アイコンが付いている。	**【原因】** 次の原因が考えられます。 1. リモート機の電源が入っていません。 2. 以下の設定がお使いの機械とリモート機とで一致していません。 ・時刻 ・機械管理者 ID ・機械管理者パスワード 3. ネットワーク接続設定に誤りがあるか、ネットワークケーブルが物理的に接続されていません。 4. ［複合機の登録］画面のSSL またはポート設定に誤りがあります。 **【処置】** 1 については、機械の電源を入れてください。 2 については、お使いの機械とリモート機とで上記の設定をすべて一致させてください。 3 については、ネットワーク設定とネットワークケーブルの接続状態を確認してください。 4 については、SSL とポート設定を確認してください。
接続テストが実行できない	**【原因】** お使いの機械の本体側の設定と［複合機の登録］画面の［自機］の設定とで SSL 設定とポート設定が一致していません。 **【処置】** お使いの機械の本体側の設定と［複合機の登録］画面の［自機］の設定とで SSL 設定とポート設定を一致させてください。

コンテンツ情報の確認

本機能のコンテンツのバージョン情報を確認できます。また、お問い合わせ時に、本機能のコンテンツ情報が必要な場合があります。以下の手順に従って、コンテンツ情報を確認してください。

1 操作パネルの〈ポーズ〉ボタンを５秒以上押します。

2 コンテンツ情報を確認します。

補足
- ピリオドで区切られた３桁の数値のうち、左２桁がバージョン情報です。

3 ［閉じる］を押します。

注意 / 制限事項について

本機能使用時の注意 / 制限事項は、次のとおりです。

■ 機械使用上の注意 / 制限

- 本機能を利用する場合、機械のウォームアップ時間が通常よりも数秒長くかかります。
- お使いの機械とリモート機の初期表示言語を一致させてください。
- お使いの機械とリモート機の機械管理者 ID と機械管理者パスワードを一致させてください。
- お使いの機械とリモート機の時刻を一致させてください。設定された時刻に差があると、文書の一覧を正しく取得できない場合があります。
- 機械に登録されたユーザー間で、User ID やカード番号などの異なる ID 種別でも、同一の ID 文字列を使用している場合は、IC カードを使用して認証すると、両方のユーザーの蓄積文書が表示されてしまうことがあります。
  IC カードを使用した本体認証で本機能を利用する場合は、異なる ID 種別であっても、別のユーザーに同一の ID 文字列を使用しないでください。
- 本機能を外部認証で利用する場合、CentreWare Internet Services の［プロパティ］＞［ネットワーク設定］＞［プロトコル設定］＞［LDAP］＞［LDAP グループアカウント］で設定した値は有効になりません。
- 本機能以外のサービスを利用するため、Version2.0 の Web ブラウザーで外部サーバーに接続する場合は、［外部アクセス設定］の［接続先の登録］で URL のプロトコルの種類として Version2.0 を指定してください。この指定は［Web ブラウザー設定］の［外部アクセスバージョンの選択］で指定した値（V4）より優先します。
  例) 外部アクセスバージョンとして Version2.0（旧バージョン）を指定する場合
  - http-v2://www.example.com
  - http-v2://192.168.1.1 （IPv4 の場合）
  - http-v2://[2001:DB8::1234] （IPv6 の場合）
  - https-v2://www.example.com
  - https-v2://192.168.1.1 （IPv4 の場合）
  - https-v2://[2001:DB8::1234] （IPv6 の場合）
- ［複合機の登録］で同じ IP アドレスを設定しないでください。ジョブが多重に表示されます。

■ プリント機能使用上の注意 / 制限

- 本機能では、複数の文書を一度にプリントする場合でも、ジョブが 1 件ごとに送信されるため、通常と比べてプリントに時間がかかる場合があります。
  また、複数の文書をプリント中にファクスを受信した場合は、実行中のプリントの合間にファクス文書をプリントします。ファクス文書の割り込みをさせない場合は、設定を変更してください。
- プリント中のジョブは、リモート機でも、［ジョブ確認］画面の［実行中 / 待ち］タブから通常のジョブと同じ方法で処理できます。リモート機でプリント中のジョブを削除したり、キャンセルしたりしないようにご注意ください。
- 複数の機械から同時にプリント指示を行うと、プリントが開始されるまでに時間がかかる場合があります。
- 異なる機械に蓄積されている文書を一度にプリント指示した場合、タッチパネルディスプレイに表示された順序とは異なる順序でプリントされることがあります。
- 本機能を利用する場合、割り込みはできません。

- バナーシートをプリントするように設定されている場合、本機能利用時でもバナーシートはプリントされます。
- 本機能を利用して出力された文書は、ジョブ履歴レポートで、「外部アクセスプリント」と記載されます。

■ ジョブの表示件数について

- 蓄積されたジョブは、［プライベートプリント］画面、［プリント済み文書］画面のそれぞれの画面 * で、機械一台につき 99 件まで表示できます。いずれかの機械で、ジョブの数が 99 件を超えている場合、その機械の 100 件目以降のジョブは表示されません。

  *: ［プリント済み文書］画面は、環境設定の［プリント済み文書の再利用］で［再利用する］を選択しているときだけ表示できます。

- 取得したジョブが 495 件を超えた場合、以降のジョブは表示されません。

索引

記号・英数

カ

キ

ク

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

タ

ニ

ヒ

フ

ホ

メ

リ

サーバーレスオンデマンドプリント取扱説明書

著作者 ─ 富士ゼロックス株式会社　　発行年月 ─ 2013 年 4 月　　第 1 版
発行者 ─ 富士ゼロックス株式会社

（帳票番号 :ME5630J1-5）